



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社ルネサンス 上場取引所 東  
 コード番号 2378 URL https://www.s-renaissance.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)岡本 利治  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役専務執行役員最高財務責任者 (氏名)安澤 嘉丞 (TEL)03-5600-7811  
 四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	32,422	7.0	1,055	111.9	862	276.3	614	—
2023年3月期第3四半期	30,312	10.2	498	△31.4	229	△51.1	12	△97.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 586百万円 (—%) 2023年3月期第3四半期 △26百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	31.75	29.70
2023年3月期第3四半期	0.67	—

(注) 2023年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	44,462	11,431	25.7
2023年3月期	42,272	10,991	26.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 11,420百万円 2023年3月期 10,979百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	4.0	—	4.0	8.0
2024年3月期	—	3.0	—		
2024年3月期(予想)				7.0	10.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。なお、上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご参照ください。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	7.9	1,200	76.4	900	189.1	650	—	34.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	21,379,000株	2023年3月期	21,379,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,490,706株	2023年3月期	2,490,706株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	18,888,294株	2023年3月期3Q	18,888,294株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）1ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	1.57	1.57
2024年3月期	—	4.78	—		
2024年3月期(予想)				4.78	9.56

(注) 上記のA種種類株式は、2,092,000株であり、2023年1月31日に発行しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日~2023年12月31日)においては、スポーツクラブの新規入会者数が伸び悩んだものの、総合型スポーツクラブの新規オープン及び10月にジュニアスクール会員の価格改定を実施したこと等により、売上高はほぼ計画に近い水準で推移いたしました。また、全社的な省エネ対策や国の電気・ガス価格激変緩和対策事業により光熱費を抑制できたことから、コストは計画を大幅に下回って推移いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高324億22百万円(前年同期比7.0%増)、営業利益10億55百万円(前年同期比111.9%増)、経常利益8億62百万円(前年同期比276.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益6億14百万円(前年同期より6億2百万円の改善)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、為替相場の変動や原料価格の高騰、物価上昇の影響により、個人消費の持ち直しには一部弱さが見られるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

フィットネス業界においては、ライフスタイルの変化に伴う健康課題の顕在化により、基礎体力の維持・向上や人とのつながりを創るコミュニティの場として、スポーツクラブをはじめとする健康づくりの拠点が果たす役割が益々期待されております。

このような中、当社グループは「生きがい創造企業」という企業理念のもと、「人生100年時代を豊かにする健康のソリューションカンパニー」を長期ビジョンに掲げ、生涯現役で働くための健康維持・増進や、医療費等の社会保障費の抑制につながる“治療から予防へ”の取り組みを通じ、健康長寿社会の実現及び地域の社会課題の解決に取り組んでおります。

スポーツクラブ事業では、顧客満足度の向上を目指し、全社的な接客サービスの品質の見直しや研修内容の改定、並びに既存店の設備投資を積極的に実施いたしました。その他にも、技術力向上やお子様から大人まで運動の楽しさを体感できる機会として、スタジオプログラムやテニス、スイミング、ランニング等の会員向けイベントを多数開催し、盛況となりました。また、当第3四半期連結会計期間においては、10月に総合型スポーツクラブとして「スポーツクラブ ルネサンス 熊本光の森24(熊本県菊池郡菊陽町)」、「スポーツクラブ ルネサンス・イオンモール座間24(神奈川県座間市)」の2施設を新規オープンし、当第3四半期連結会計期間末の在籍会員数は392,081名(うちオンライン会員数49,268名)(前年同期比5.9%増)となりました。なお、昨今の各種コストの上昇への対応と、人材の確保及び人材への継続的な投資を通じて付加価値を高めていくために、10月にジュニアスクール会員の価格改定を実施しております。

介護及び介護・医療周辺事業では、リハビリ特化型デイサービス「元氣ジム」等が堅調に推移し、売上高は前年同期比12.2%増となりました。介護リハビリの領域においては、リハビリ特化型デイサービス、訪問看護ステーション、居宅介護支援、児童発達支援・放課後等デイサービス等の複数のサービスの提供とその連携を通じ、利用者のQOL向上に取り組んでおります。11月には、東京都練馬区に、当社初となるスポーツクラブ内における訪問看護ステーション「ルネサンス リハビリステーション富士見台」を新規開設いたしました。当施設では、スポーツクラブのトレーナーと看護師が連携し、運動と看護ケアの両面から地域の健康づくりをサポートしてまいります。

また、がんサバイバーに向けたリハビリ支援の取り組みとして、「大阪国際がんセンター認定 がん専門運動指導士(以下、「がん専門運動指導士」といいます。)」がスポーツクラブ内で専門の運動指導を行う「がん経験者専用がん運動支援プラン」を、11月よりスポーツクラブ&スパ ルネサンス 港南中央24にて導入いたしました。今後、がん専門運動指導士のスポーツクラブや介護リハビリ施設への配置を拡大し、介護及び介護・医療周辺事業とスポーツクラブ事業の連携を通じて、健康に不安を抱える方の課題解決を目指してまいります。

企業・健康保険組合向けの健康づくり事業では、企業における健康経営の取り組み支援を推進し、企業担当者の業務負担を増やさず、従業員の健康リテラシーの向上につながる新たなサービスの提供に取り組んでまいりました。また、オンラインレッスンサービス「RENAISSANCE Online Livestream（以下、「ROL」といいます。）」においては、住友生命保険相互会社のVitality会員の利用が増加しているほか、大同生命保険株式会社が取り組む中小企業の健康経営の普及・推進活動や、他の企業とともに健康関連のイベントを共催するなど、ROLの提供範囲を広げてまいりました。

地域・自治体向けの健康づくり事業では、各地の自治体とともに地域住民に向けた健康増進に取り組み、対面して行う介護予防教室や認知症予防教室等の要望が増え、実施件数が前年度から増加いたしました。また、10月には熊本県菊池郡菊陽町と「災害時における被災者支援に関する連携協定」を締結するなど、災害時の被災者支援においても当社施設を有効に活用できるよう自治体との連携強化を図っており、当第3四半期連結会計期間末において、防災に関連する協定を含め、20の自治体と連携協定を結んでおります。

ベトナムにおいては、既存のスポーツクラブ事業が堅調に推移いたしました。また、ハノイ市の施設において、フランス系インターナショナルスクールの水泳指導を受託し、学校に併設するプールにて当社スイミングコーチによる水泳授業を開始いたしました。引き続き、ベトナムにおける子どもの体力向上や溺水予防、水泳の普及に取り組んでまいります。

連結子会社の株式会社BEACH TOWNでは、公共施設等官民連携事業（PPP）及び公募設置管理制度（Park-PFI）、並びに民間企業との連携による地域のにぎわい創出に向けた企画・提案に取り組んでおります。10月には、京王電鉄株式会社の事業パートナーとして、会員制アウトドアフィットネスクラブ「RIVER PARK 聖蹟桜ヶ丘（東京都多摩市）」を開業いたしました。

また、持分法適用関連会社の株式会社東急スポーツオアシス（以下、「東急スポーツオアシス」といいます。）では、4月以降、当社より3名が経営に参画し、新たなマネジメント体制の構築やサービスの付加価値向上に取り組んでまいりました。当第3四半期連結累計期間においては、引き続きスポーツクラブ事業の収益性の改善とともに、物販を中心とするホームフィットネス事業が好調に推移し、業績の改善が進んでおります。

資本事業提携を結ぶアドバンテッジアドバイザーズ株式会社との取り組みにおいては、店舗開発の強化、全社的な運営の効率化、事業ポートフォリオの再構築等、複数のプロジェクトを進めてまいりました。中長期的な企業価値の向上に向け、引き続き同社の知見と当社のノウハウとを相互活用し、諸施策の着実な実行を目指してまいります。

なお、当社は、積極的なM&A及び事業継承を通じたスポーツクラブの施設数拡大を出店戦略に位置付けております。すでに公表のとおり、2024年3月31日に、東急不動産株式会社が保有する東急スポーツオアシスの株式の全てを譲り受ける予定であるほか、事業・施設継承の取り組みの一環として、2023年10月2日に「KSC wellness フィットネスクラブ金町・金町スイミングクラブの事業及び固定資産（信託受益権）の譲受に関するお知らせ」を公表いたしました。これらの取り組みにより、当社グループは、2025年3月期に売上高でフィットネス業界最大規模となる見込みです。今後、フィットネス業界のリーディングカンパニーとして、企業価値の向上とお客様一人ひとりの「生きがい創造」を目指してまいります。

なお、当第3四半期連結累計期間においては下表のとおり施設の新規出店及び退店並びに運営受託をし、株式会社BEACH TOWNの施設を含む当第3四半期連結会計期間末の当社グループの施設数は、スポーツクラブ170施設（直営107施設、業務受託61施設、ルネサンス ベトナム2施設）、スタジオ業態2施設、介護リハビリ44施設（直営33施設、フランチャイズ11施設）、アウトドアフィットネス16施設（直営4施設、業務受託12施設）の計232施設となりました。

出店・開設 時期	施設名	施設形態
2023年4月	武雄市民球場（他26施設）（佐賀県武雄市）	指定管理
2023年4月	大津町運動公園5施設（他8施設）（熊本県菊池郡大津町）	指定管理
2023年4月	BEACHTOWN OND PARK（佐賀県武雄市）	アウトドアフィットネス （業務受託）
2023年5月	アウトドアフィットネス和歌山（和歌山県和歌山市）	アウトドアフィットネス （業務受託）
2023年5月	アウトドアフィットネス江戸川（東京都江戸川区）	アウトドアフィットネス （業務受託）
2023年7月	スポーツクラブ&スパ ルネサンス 今里24（大阪府大阪市）	スポーツクラブ
2023年7月	スポーツクラブ ルネサンス 仙台卸町24（宮城県仙台市）	スポーツクラブ
2023年8月	ルネサンス 元氣ジム武蔵関（東京都練馬区）	介護リハビリ（FC）
2023年10月	スポーツクラブ ルネサンス 熊本光の森24 （熊本県菊池郡菊陽町）	スポーツクラブ
2023年10月	スポーツクラブ ルネサンス・イオンモール座間24 （神奈川県座間市）	スポーツクラブ
2023年10月	RIVER PARK 聖蹟桜ヶ丘（東京都多摩市）	アウトドアフィットネス （業務受託）
2023年11月	ルネサンス リハビリステーション富士見台（東京都練馬区）	介護リハビリ（直営）
退店・受託 終了時期	施設名	施設形態
2023年4月末	Community Park 桶川（埼玉県桶川市）	アウトドアフィットネス （直営）
2023年6月末	スポーツクラブ ルネサンス 相模大野（神奈川県相模原市）	スポーツクラブ
2023年7月末	アウトドアフィットネス和歌山（和歌山県和歌山市）	アウトドアフィットネス （業務受託）

また、第4四半期連結会計期間以降は、下表の施設の新規開設を予定しております。

出店・開設 時期	施設名	施設形態
2024年4月	BEACHTOWN 大山（鳥取県西伯郡大山町）	アウトドアフィットネス （直営）

当社グループの報告セグメントは「スポーツクラブ運営事業」のみであるため、セグメントごとの業績については記載しておりません。

## （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ21億90百万円増加し、444億62百万円となりました。これは主に、現金及び預金が減少したこと等により流動資産合計が11億53百万円減少したこと、及びリース資産が増加したこと等により有形固定資産が29億21百万円増加したこと等により固定資産合計が33億49百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ17億49百万円増加し、330億30百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したこと等により流動負債合計が10億20百万円増加したこと、及びリース債務が増加したこと等により固定負債が27億70百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億40百万円増加し、114億31百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益6億14百万円を計上したこと、配当金1億45百万円を支払ったこと等により利益剰余金が4億69百万円増加したこと、また、為替換算調整勘定が35百万円減少したこと等によりその他の包括利益累計額合計が28百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年11月10日に公表いたしました通期連結業績予想及び配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,520,381	4,845,503
売掛金	1,245,183	1,085,323
商品	234,274	342,928
その他	1,791,069	1,364,628
貸倒引当金	△6,881	△7,418
流動資産合計	8,784,027	7,630,965
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,586,215	6,231,706
リース資産(純額)	10,969,552	13,745,551
その他(純額)	2,990,709	2,490,838
有形固定資産合計	19,546,478	22,468,096
無形固定資産		
投資その他の資産	461,076	560,383
投資有価証券	1,645,137	1,752,337
敷金及び保証金	8,814,555	9,421,475
その他	2,994,437	2,609,173
投資その他の資産合計	13,454,129	13,782,987
固定資産合計	33,461,683	36,811,466
繰延資産	27,018	20,304
資産合計	42,272,729	44,462,735
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	54,479	58,508
短期借入金	3,000,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	2,203,084	2,243,084
未払法人税等	197,429	111,036
賞与引当金	684,062	364,907
資産除去債務	13,453	4,111
その他	4,189,421	4,539,451
流動負債合計	10,341,931	9,321,099
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,499,988	1,499,988
長期借入金	3,751,721	3,059,408
リース債務	11,400,747	14,260,083
退職給付に係る負債	851,520	881,340
資産除去債務	1,357,079	1,481,724
その他	2,078,499	2,527,161
固定負債合計	20,939,556	23,709,705
負債合計	31,281,487	33,030,805

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,210,356	3,210,356
資本剰余金	5,813,491	5,813,491
利益剰余金	4,644,051	5,113,250
自己株式	△2,514,753	△2,514,753
株主資本合計	11,153,145	11,622,344
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,846	5,914
為替換算調整勘定	△145,643	△181,178
退職給付に係る調整累計額	△32,779	△26,822
その他の包括利益累計額合計	△173,576	△202,087
新株予約権	11,673	11,673
純資産合計	10,991,242	11,431,930
負債純資産合計	42,272,729	44,462,735

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	30,312,830	32,422,782
売上原価	28,137,724	29,602,579
売上総利益	2,175,105	2,820,202
販売費及び一般管理費	1,676,983	1,764,540
営業利益	498,121	1,055,661
営業外収益		
受取利息	6,749	6,121
為替差益	45,331	36,420
持分法による投資利益	—	105,661
受取補償金	—	60,000
その他	37,960	49,116
営業外収益合計	90,041	257,320
営業外費用		
支払利息	335,610	423,149
その他	23,498	27,787
営業外費用合計	359,108	450,937
経常利益	229,054	862,045
特別利益		
固定資産売却益	360	—
特別利益合計	360	—
特別損失		
固定資産除却損	2,695	12,163
減損損失	46,520	2,817
店舗閉鎖損失	3,000	—
その他	—	2,313
特別損失合計	52,215	17,294
税金等調整前四半期純利益	177,198	844,751
法人税、住民税及び事業税	66,200	67,684
法人税等調整額	101,736	162,362
法人税等合計	167,936	230,047
四半期純利益	9,261	614,704
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,306	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,568	614,704

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	9,261	614,704
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,439	1,067
為替換算調整勘定	△40,447	△35,534
退職給付に係る調整額	5,708	5,956
その他の包括利益合計	△36,178	△28,510
四半期包括利益	△26,916	586,193
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23,609	586,193
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,306	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。